

# メタ・プラットフォームズ

PASSION  
FOR THE  
BEST(米国、SNS、META : A2818) <http://investor.fb.com>

## 40億人に“刺さる広告”を放つテクノロジー企業



(出所) wachiwit - stock.adobe.com

写真・動画の撮影と文書の入力、投稿まで1台で完結するスマートフォンが登場もSNS市場の拡大を後押しした

### 注目ポイント

#### ① フェイスブックとインスタグラムを運営する企業

- ✓ 40億人に迫る規模の利用者が世界各国から参加している
- ✓ 過去10年間でEPS（1株当たり純利益）は約25倍に拡大

#### ② 消費者心理を刺激する刺さる広告が主な収入源に

- ✓ フェイスブックの会員1人当たり広告収入は競合を上回る
- ✓ ターゲットを的確に分析しタイミング良く広告を打つ

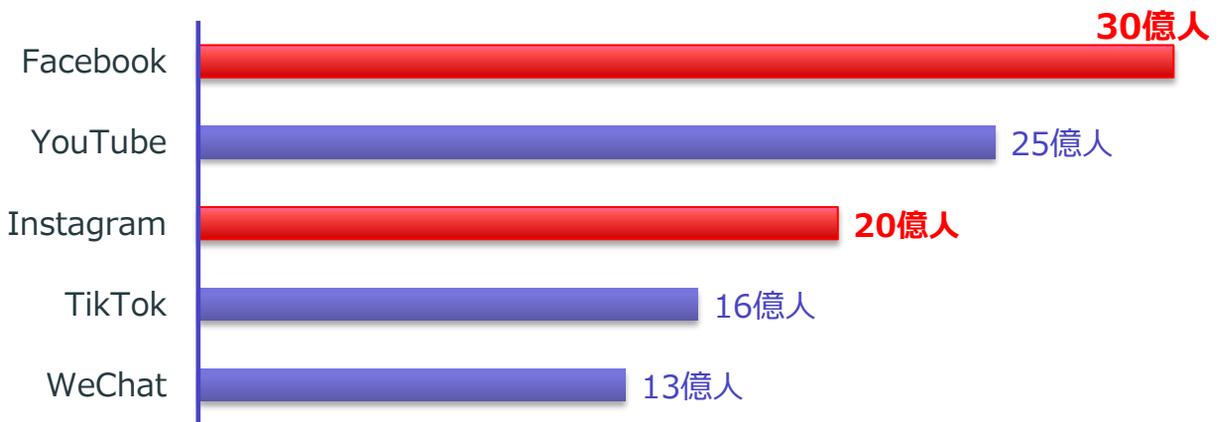
#### ③ 広告収入は当面拡大が続く公算が大きいだろう

- ✓ 景気堅調で広告出稿意欲は強含み。米大統領選も追い風に
- ✓ 今後はAI（人工知能）を活用し広告需要を更に掘り起こす

## 【概要】 インターネットで“世界最大の社交場”を運営する企業

「フェイスブック (Facebook) 」や「インスタグラム (Instagram) 」といった複数のソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS、利用者がインターネットを通じて交流や情報交換を行うサービス) を世界展開している。各種サービスの月間稼働利用者数は合計で39.8億人 (2023年末時点)。これらの利用者に向けて商品やサービスを宣伝したい企業などへ、ネット広告の枠を提供し主な収入源としている。スマートフォンの普及も追い風に過去10年間で業績は大きく躍進。コロナ禍における行動制限下では貴重なコミュニケーション手段としての役割も担った。

図表① 世界の主要なSNSにおける月間稼働ユーザー数 (2024年1月時点)



(出所)スタティスタ、KEPIOSより大和証券作成。(注)FacebookとInstagramのユーザー重複は考慮していない

図表② メタの売上高とEPS (1株当たり純利益) の推移



(出所)ブルームバーグ、大和証券CM。(注)2024年度(24/12期)以降は大和予想(2024年2月8日時点)

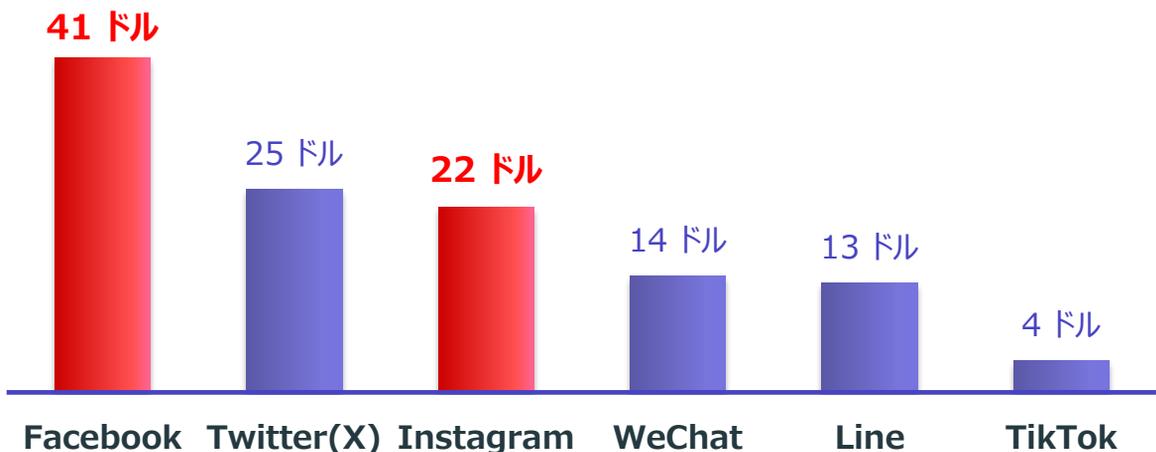
## 【強み】 広告単価の高さ = 高い費用対効果への評価

強みは、費用対効果の高い広告枠を提供できること。フェイスブックやインスタグラムの「ARPU（利用者1人当たりの売上高）」の高さは、広告単価の高さを表している。これらのSNSは世界中で毎日何億人もの利用者がおり広告媒体として魅力的だ。しかもプロフィールや投稿の内容から利用者の性別や年齢、居住地、職業、趣味などの属性が容易に判別できることも大きな特徴。位置情報も取得可能で、ユーザーが今どこで誰と何をしているか推測できるケースもある。例えば「40代男性で既婚、子供が複数おり、茨城県から東京都心へ電車通勤」といったユーザー像が把握できれば「帰宅電車到着前の20時頃、晩酌用にビールとチーズ、みやげ用にドーナツの広告も打つ」という手法が立案できるかもしれない。今後も効果への期待から高単価の広告料が許容され易いと考える。

## 【競合・リスク】 競合は動画系SNS リスクは規制強化

利用者獲得の面では、YouTubeやTikTokなどの動画系SNSが競合と意識される。ただしメタは動画投稿機能「リール（Reels）」を各SNSに付加し客離れ防止対策としている。広告主獲得の面では、個人情報収集に関する規制が強化され広告効果が薄れることがリスクに挙げられる。

図表③ 世界の主要なSNSにおけるARPU（利用者1人当たりの年間売上高）



(出所)スタティスタ、sortlistより大和証券作成。(注)データは2022年9月時点。年換算

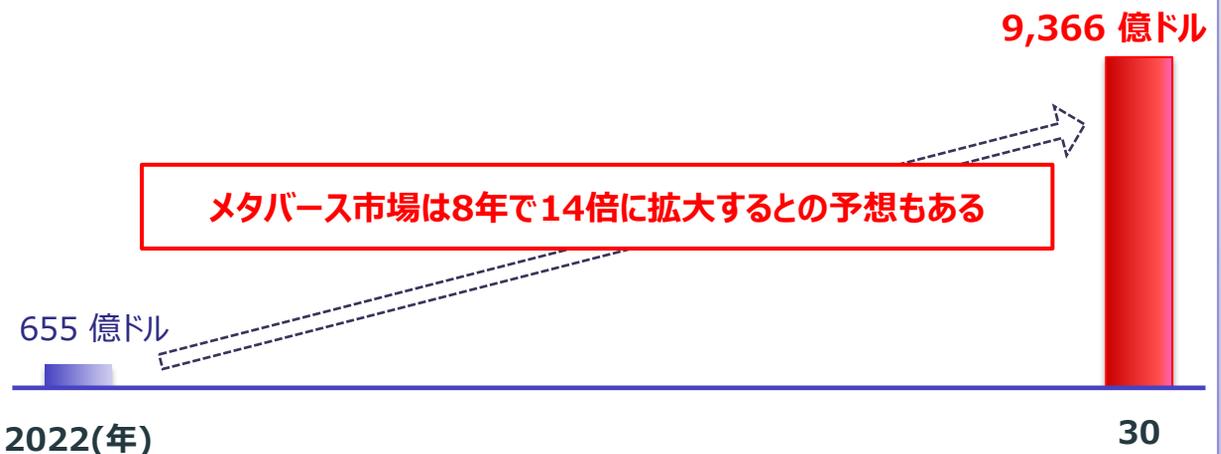
## 【短期展望】 広告増収と経費削減で利益成長局面が続くと想定

SNSの広告収入が拡大を続け、利益成長につながるとの期待が当面継続するだろう。米国をはじめ世界経済の深刻な景気後退は回避され、底堅く推移する見通しが強まっている。企業の広告出稿意欲も堅調に推移しそうだ。メタは2023年に余剰人員削減やオフィス縮小などの諸経費圧縮に取り込んだ。2024年に広告の増収が続けば、利益はより大きな伸びを示す公算が大きいと考える。なお、米国では大統領選の投開票が11月に迫っている。今後の選挙活動では各陣営がSNS向けの広告を積極的に活用していこう。広告枠の需要と供給のバランスは引き締まり易い環境となりそうだ。フェイスブックやインスタグラムの広告単価に上昇圧力が強まる展開となって今後の業績へ追い風に作用する可能性がある。

## 【中長期展望】 AIが利益成長を促す公算 メタバースにも注目

人工知能（AI）関連技術への投資加速を表明している。将来的にSNSへ投稿する画像や動画の編集をAIが手助けする機能の実用化などが予定され、利用頻度の向上や広告掲載ニーズの増加へ繋げられるか注目だ。他方、仮想現実世界「メタバース」に関する投資はピッチを抑制しつつ、継続中。事業の将来性に対する期待はなお大きいため動向を見守りたい。

図表④ 世界のメタバース市場規模の見通し



(出所)総務省「情報通信白書」、スタティスタ、Grad View Research。(注)2022年は実績。2030年は予想

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行なう場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行なうにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行なうことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された各種手数料等（最大3.3%（税込）の購入時手数料、換金時には、1口（当初1口=1,000円）につき最大22円（税込）の解約手数料や最大0.5%の信託財産留保額、間接的にかかる費用として、運用管理費用（国内投資信託の場合には信託報酬として最大年率2.420%（税込）、外国投資信託の場合には管理報酬等として最大年率3.75%程度）、その他運用実績に応じた成功報酬やその他の費用・手数料等（運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません）をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。各商品の目論見書等のご請求は、大和証券のお取引窓口までお願いいたします。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行なわれていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

#### 【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株券等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行なっている会社は以下の通りです。（2024年3月15日現在）

メンバーズ(2130) サンケイリアルエステート投資法人(2972) SOSiLA物流リート投資法人(2979) 日本アコモデーションファンド投資法人(3226) 森ヒルズリート投資法人(3234) サムティ(3244) 産業ファンド投資法人(3249) アドバンス・レジデンシャル投資法人(3269) アクティビア・プロパティーズ投資法人(3279) GLP投資法人(3281) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本プロロジスリート投資法人(3283) 星野リゾート・リート投資法人(3287) Oneリート投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) 日本リート投資法人(3296) 積水ハウス・リート投資法人(3309) ヘルスケア&メディカル投資法人(3455) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) 野村不動産マスターファンド投資法人(3462) ラサールロジポート投資法人(3466) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 三菱地所物流リート投資法人(3481) CREロジスティクスファンド投資法人(3487) ザイマックス・リート投資法人(3488) カヤック(3904) レナサイエンス(4889) ティムス(4891) ケイファーマ(4896) 藤商事(6257) マースグループホールディングス(6419) TDK(6762) アドバンテス(6857) トミタ電機(6898) 太陽誘電(6976) 日本ホスピスホールディングス(7061) アストマックス(7162) ポピンズ(7358) クレディセゾン(8253) マネーパートナーズグループ(8732) 日本ビルファンド投資法人(8951) ジャパンリアルエステート投資法人(8952) 日本都市ファンド投資法人(8953) オリックス不動産投資法人(8954) 日本プライムリアルティ投資法人(8955) N T T都市開発リート投資法人(8956) グローバル・ワン不動産投資法人(8958) ユナイテッド・アーバン投資法人(8960) インヴィンシブル投資法人(8963) フロンティア不動産投資法人(8964) 日本ロジスティクスファンド投資法人(8967) KDX不動産投資法人(8972) 大和証券オフィス投資法人(8976) 阪急阪神リート投資法人(8977) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) ジャパンエクセレント投資法人(8987) Green Earth Institute(9212) キャスター(9331) 帝国ホテル(9708) ファーストリテイリング(9983) (銘柄コード順)

#### 【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、2023年4月以降下記の銘柄に関する募集・売出し（普通社債を除く）にあたり主幹事会社を担当しています。

トライアルホールディングス(141A) ソラコム(147A) カウリス(153A) Will Smart(175A) レジル(176A) ライフドリンク カンパニー(2585) ヤマイチ・ユニハイムエステート(2984) 東海道リート投資法人(2989) 産業ファンド投資法人(3249) コンフォリア・レジデンシャル投資法人(3282) 日本プロロジスリート投資法人(3283) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) ユーザーローカル(3984) コアコンセプト・テクノロジー(4371) 楽天グループ(4755) セルソース(4880) リアルゲイト(5532) Globe(5575) ファーストアカウント(5588) ネットスターズ(5590) AVILEN(5591) ブルーインベーション(5597) ヒューマンテクノロジー(5621) 楽天銀行(5838) インテグラル(5842) SOLIZE(5871) クラダシ(5884) Japan Eyewear Holdings(5889) 魅力屋(5891) yutori(5892) デンソー(6902) ジャパンインベストメントアドバイザー(7172) F Pパートナー(7388) 平和堂(8276) トモニホールディングス(8600) 平和不動産リート投資法人(8966) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) 大和証券リビング投資法人(8986) センコーグループホールディングス(9069) ナレルグループ(9163) AB&Company(9251) キャスター(9331) ソフトバンク(9434) M&A総研ホールディングス(9552) 帝国ホテル(9708) (銘柄コード順)